

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390100093
事業所名	認知症高齢者グループホームちくさ

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2)	評価
	地域の行事には利用者様と参加している現状がある。しかし、地域の中ではまだ当施設は日が浅いため1日でも早く地域の一員になれるように努力したいと思う。	×
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3)	評価
	まだ会議は開催されていない。開設時にはどのホームも頭を悩ます、「第三者として地域のだれに頼んだらいいのか」、「何を話したらいいのか」、「何を地域にオープンにしたらいいのか」、それらをずっと手探りしていたが、来年度から開催予定である。提携医から「認知症相談会をやろう」との提案もあり、それが一つのきっかけになればと思っている。	×
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4)	評価
	要介護認定調査員を行政に派遣し、市の認知症徘徊サポート事業である「認知症おかえり支援事業」に参加し、行政・警察と連携して、在宅での認知症介護者の窓口となっている。ホームで申請すれば市と警察に同時に登録されるような仕組みを今後提案しようとしている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6)	評価
	家族会は一度開催したが、10家族ほどの参加があった。ホーム便りは法人在宅介護部門と、「ちくさ」独自のものがあり、独自の便りは毎月発行し、入居者の笑顔の写真に家族は安心している。家族からの要望は必ず職員で共有・解決し対応策は必ず家族に伝えている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	×
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	×
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	×
総合評価		×

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価				×		

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認 (記録、写真等) できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。